

olio music presents  
download store

～音楽の力で森をつくろう～  
薬師寺本尊開眼 1310 年記念

# Present Tree Live



DARUMA OBJECT  
Designed by  
TATUYA ISHII



渡辺美里 2007/5/19(土)

歌を作る時、生きている眩しさを実感する時、私の中にはいつも季節があります。春には桜、夏には青々と繁る緑に、まばゆい太陽、秋の爽りに冬の星空。美しい四季を感じながら生きることが、ごく自然で、またあたり前のように育ててもらった私達のココロやカラダ。人と人との結びつきさえも激変しようとしている今。大切な事は何なのか、細やかだけれど、出来ることを少しずつ。きちんと向き合うべき時なのだと思います。キレイな歌を届けたい、そんな気持ちです。



徳永英明 2007/5/26(土)

生きとし生きるすべてのものへ  
歌を届けよう 放たれた歌声が地球に伝わりますように  
常に歓びの中に生きよう  
歓びと共に生き 植林された命も  
真っすぐ天へ天へと伸びてくれますように  
それこそが命のシンボル 地球の歓び  
生きとし生きるすべてのものの歓びになりますように



河村隆一 2007/5/20(日)

僕は、もともと日本の文化に興味を持っていたので、歴史あるこの薬師寺でライブを出来ることを、とても楽しみにしてきました。こういうイベントがこれからも続くように、ライブを成功させたいです。いつか、僕らが年を重ね時代が変わっても、このイベントにより植えられた木たちが、仲間を増やし、みんなの為に育てられている事を期待します。



石井竜也 2007/5/27(日)

今宵はようこそ、我々のコンサートにお越し下さいました。薬師寺の優雅荘厳なる風景の中にひととき身を委ねて素敵な思い出を作ってください。そして「一人の人間が出来る事はとても大きい」という事を感じ取って頂いて下さい。それが歌う僕達からのせめてものメッセージだと思います。



政府の進める

「美しい森林づくり推進国民運動」へ協力！ライブに参加すると、植林に一役買えます。大勢の人の参加が日本の森の再生を広げていきます。

<http://www.presenttree.jp/ptlive/07/>

薬師寺 HP <http://www.nara-yakushiji.com/>

olio music HP <http://olio-music.jp>

主催：Present Tree Live 事務局 特別協賛：olio (オリンパス株式会社) 協賛：日本製紙株式会社 後援：朝日新聞社/FMS02/環境省/衆議院議員 小池百合子/林野庁 特別協力：薬師寺 協力：朝日放送/近畿日本鉄道  
制作協力：ウィルパワー/R・K・M・FAMILY/BACKSTAGE PROJECT/リアルフォーチュン/GIP/WELL STONE VOICE 企画制作：フリーダム/ミュージベンツ・ジャパン/NPO法人 環境リレーションズ研究所

# Present Tree Live — 植林について

## 南九州で大問題になっている植栽放棄地への広葉樹の植栽植栽

放棄地とは、林業によって木を切った後、再植栽が行われなまま放り出されている場所のことです。本当は切った後はまた植えることで未永く資源を育てていくのが林業なのですが、木材価格が低迷し、植栽をしたくともお金が捻出出来ず、放り出すしかなかったのです。

この問題は数年前から各地で問題となっていますが、特に南九州が深刻な状況で、国内森林再生における緊急性は高いと考えられています。

## Present Tree Liveは、参加した人の数だけ木が植わるコンサートです。

苗木代を参加者の皆さんから、そして植栽やその後の育成にかかる費用をスポンサーであるオリンパス(株)からそれぞれ充てられ、今回は熊本県球磨村の植栽放棄地に1万本以上の木を植える予定です。現在、着々と準備が進められ、植栽面積の測定や掻き起こし作業を経て、2007年秋に植栽が行われます。



## Present Tree Live へのメッセージ



### 小池百合子衆議院議員

PresentTreeLiveの成功により、日本の深刻な放置林対策のために1万本もの植樹が行われることを心より期待します。環境大臣時代には「環境行政は国民の協力なくして効果はありえない。地球温暖化対策とか循環型社会とか、大義だけでは国民的運動にならない。」と実感したため、「クールビズ」を提唱し、解り易く環境問題の重要性を訴えてきました。環境行政は規制が多く、『Don't(するな)』になりがちですが、『Do(しよう)』へ転換させなければ、これ以上の広がりには期待しにくくなっています。「楽しいついでに環境貢献」を「Do」。このムーブメントの種として多くの方が、森林を守るアクションに参加することを応援しています。



### 秋吉久美子

森がなくなってどうやって生きていけるの？  
鳥は何処に住むの？命は何処から貰うの？  
美しい日本は何処で見るとも簡単な事です。  
植林はしなければいけません。  
切って使うばかりじゃ勿論、失くなっちゃうよ。



### 安齋肇 イラストレーター

やさしみどりさま。  
いつもありがとう。  
あなたがいなくていきでゆけません。  
おんがえしがしたいです。



### 藤村俊二

生まれた頃には、いたるところに大きな木のある場所がありました。その頃にはあたりまえに思っていた自然が、今は身近に感じる事が残念ながら少なくなってきています。今の子どもたちにあたりまえに感じるナチュラルなものは、いくつかのこっているのでしょうか。ワインの醸造など自然の恵みを得るためには、自然と共存する事が大切です。この運度もゆっくりと育てて大きな恵みを分かち合えるように続けていってください。



### 小浜正寛 (ボクデス) パフォーミング・アーティスト

疲れてしまったとき、木の幹にそっと触れると、元気になります。絵でも写真でもない、本物の「木」だけが与えてくれるパワー。本物の「木」がもっと増えたらいいな。



### 真島茂樹

「木が一本、裸になった山に植えられました。それを知った子どもや大人が水をやり、もう一本、もう一本と小さな苗木を植えました。やがて鳥や花が木の周りを豊かにしてくれ、生長した木が夏の暑さを忘れさせてくれる木陰をつくってくれました…。」なんでもない一文ですが、そんな景色がたくさんある場所が増えるよう、そしてこれからも、気付くのが遅れた自然への恩返しができるくらいに思っています。



### 金剛地剛志 J-WAVE「TOMORROW」ナビゲーター

一人ひとりがなんだか“き”になる。  
やがて森になる。



### スピードワゴン

僕は田舎で育ったので、昔から森には親しんできました。  
実は、森にも音楽は流れているんです(小沢)  
未来の子供が“元気モリモリ”になるように、  
木を大事にしていきたいです(井戸田)

## 中村俊輔選手

「音楽の力で森をつくらう！」という今回のコンサートの主旨。すごく面白いと思うし、改めて地球の環境を考えるきっかけになりました。音楽で自分の生活に身近なものだけど、森林もまた僕たちの身近にあるもの。その森林が減少しているという現実、僕たち人間がいかに身近な生活を息づけているか！という結果なのだと思う。そう考えると、自分の生活の一部でもある「音楽」の力で森林を再生する手助けをする、すばらしいことだと思っています。環境問題全体について考えてみると、サッカーも環境問題に対していろいろ発信しています。2006年のワールドカップのときも、環境負荷を減らす為の「グリーンゴール」というドイツらしいプロジェクトが行われたり、日本でもいくつかのスタジアムで「リユースカップ」などのごみ削減をしたりしています。メッセージを伝えられる立場の我々だからこそ今回のコンサートには共感できるものが強くあります。僕も賛同している「Familiar-e」のメンバーが集まって5月から「Present Tree」を広く知って貰うための協力をしていきます。森林を再生される輪が一人一人の心に広がっていくよう、応援しています。



## 『証明書をダウンロードしよう!』

Present Tree Liveに参加した一人一人に、チケット番号入りの植林証明書が発行されています。あなたがPresent Tree Liveに参加したことで森林が再生されていく証をここに。ウェブサイト or 携帯サイトからダウンロード・印刷してください。

ウェブサイト：  
<http://www.presenttree.jp/ptlive/07/>

携帯サイトから今すぐダウンロード!⇒  
<http://www.presenttree.jp/ptlive/07/m/>

